

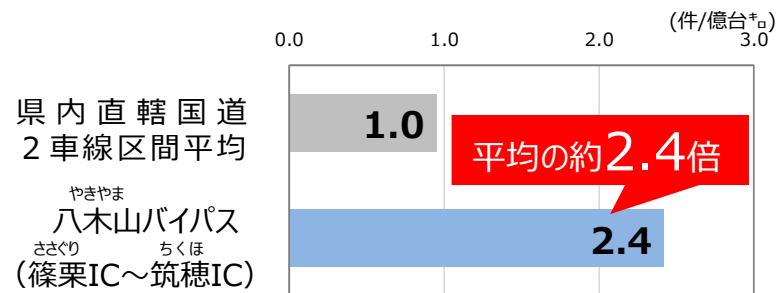
【八木山バイパス】 今回の4車線開通により期待される効果②

対面通行区間の解消に伴う、道路利用者の交通安全性の向上

- 現在の八木山バイパスは、対面通行の道路であるため、正面衝突事故の発生割合が県平均の約2.4倍と高く、重大な正面衝突事故が発生した場合には、全面通行止めとなるなど、支障を来している状況です。
- 今回篠栗ICから筑穂IC間(延長5.7km)が4車線で開通することに合わせて中央分離帯が設置されるため、道路利用者の交通安全性が向上し、事故等による全面通行止め時間が減少するなど、信頼性の高い道路ネットワークの構築が期待されます。

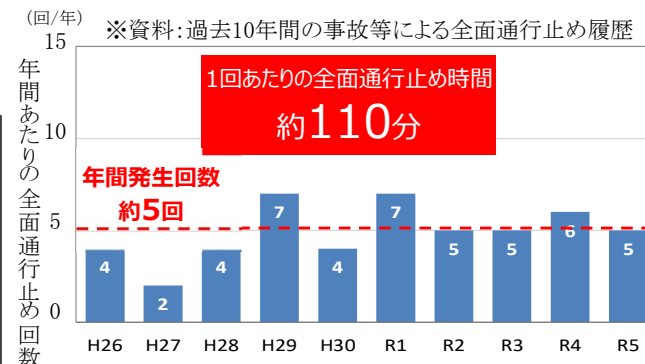


今回開通区間の正面衝突事故発生状況



※資料: 交通事故総合データベース (R1~R4)

今回開通区間の事故等による全面通行止め時間・回数



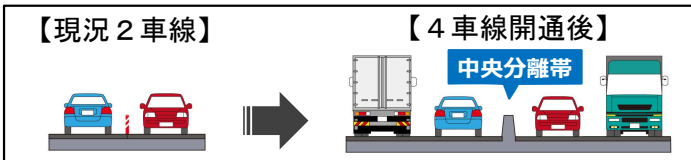
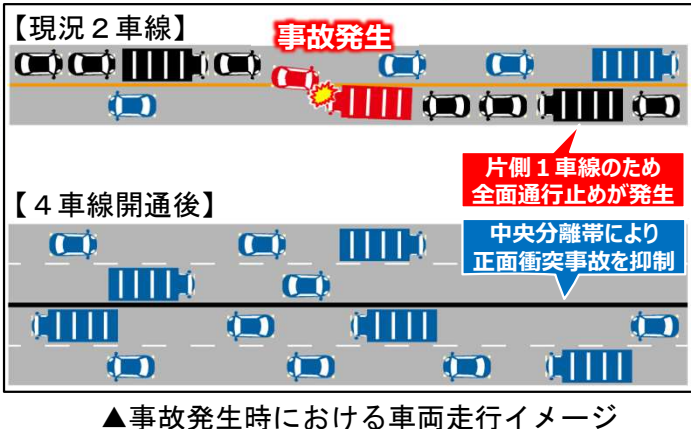
【地域の声】

- 道幅が狭く対面交通であるため、対向車が大型車の場合などは威圧感を感じる。
- 4車線化後は安全性の向上が期待できる。

資料: 西鉄バス筑豊株式会社 (R6. 7)



▲ 道を塞ぐ正面衝突事故状況



4車線開通後は交通安全性が向上し、**全面通行止め時間の減少が期待**される